第62回 RIDCマンスリー研究セミナー

ペルーにおけるアルパカ・リャマ肉の利用とそのイメージ

スピーカー
岡山大学文明動態学研究所 特任助教
佃 麻美



日 時
2026年12月23日（水）
12:00～13:00

場 所
オンライン開催

アルパカ・リャマは南米で独自に家畜化されたラクダ科の動物です。リャマは荷駄用として利用され、アルパカは高品質な毛を生産することで知られています。また日本ではマスコット的な人気がありますが、実はその肉も重要な畜産物の一つです。その利用は長らく、実際に家畜を飼養している村やその周辺に限定されていましたが、近年、観光や健康といった文脈のなかで都市部へと広がりつつあります。本セミナーでは、ペルー・クスコ県での調査をもとに、アルパカ・リャマの肉にはどのようなイメージがもたれ、実際に利用されているかについて報告します。

お申し込み先 https://forms.gle/5Loqt88rtXLvGWwBA

お申し込み締め切り 12月22日 12:00

お問い合わせ先 文明動態学研究所 ridc@okayama-u.ac.jp

*オンライン開催のため、ご参加希望の方は事前申し込みをお願いします。折り返し、参加用URLをお送りします。